

恒例の授粉、今年はピリピリムード

記者席ノート



◇…国会議事堂の前庭に山形県の木として植栽されているサクランボの花が満開となり、県関係国会議員らが12日、この時期恒例の授粉作業を行った。自民党農林部会長を務める小泉進次郎衆院議員

が飛び入りで参加し「環太平洋連携協定(TPP)でも山形のサクランボは大丈夫」と強調した。

衆参双方の前庭には「佐藤錦」「紅秀峰」「紅さやか」の3品種計4本の木があり、主力品種の「佐藤錦」は白い花がちよと満開に。鈴木憲和(自民)近藤洋介(民進)の両衆院議員、大沼瑞穂参院議員(自民)が参加した。毛ばたきを使用し、県園芸試験場が冷凍保存した「ナポレオン」「紅さやか」の花粉を付けて回った。

同部会長代理の鈴木氏が近くで支援者を国会案内していた小泉氏を見つけて参加を要請し、後半は4人で授粉作業に写真。近藤氏は衆院TPP特別委員会の野党筆頭理事で、現在は西川公也委員長が出版しようとしていたTPPに関する本をめぐる与党批判を強めており、例年はないピリピリムードが漂っていた。